

《至誠 剛健 協同》

ふるさとを愛し ころ豊かで
未来を切り拓く 香住っ子の育成

おお まつ
大松



香住小学校 学校だより
第5号
令和7年9月 2日
香美町立香住小学校

2学期が始まりました ~実りの秋に向けて~

長い夏休みが終わり、2学期が始まりました。夏休み中のご家庭での様子はいかがだったでしょうか。学習や読書、スポーツや習い事、そしてご家族でのお出かけやお手伝いなど、充実した夏休みが過ごせたことと思います。始業式当日には、大きな作品（夏休みの宿題など）を抱えながら、誇らしげな表情で登校する児童の姿に頼もしさを感じました。さあ、いよいよ2学期です。2学期は、5年生の自然学校や6年生の修学旅行など、大きな行事が控えています。また、全校生では音楽会や持久走大会など、「充実した秋」を深めるための行事もあります。どうか、日頃の学校生活や行事を経て、より一層仲間づくりや学習を深め、充実した2学期を送ってほしいと思います。

記録的な猛暑が続いています。児童の健康・安全を最優先にして学校運営を行います。保護者の皆様におかれましては、1学期同様、2学期も何卒ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

学校行事は何のためにあるのでしょうか

学校における様々な行事は、単なる「特別な一日」ではなく、子どもたちが普段の学習や生活で身につけた力を発揮するとともに、仲間とともに協力し合い、達成感や充実感を味わう大切な機会です。準備や練習の過程の中でより良い物を創り上げようとする、時には友だちとぶつかることもあります。上手くいかないことも多々あります。それでも先生や友だちと協力して様々な困難を乗り越えようとすることで、ねばり強い力を育むということも大きな目的の一つです。今学期も、一つ一つの行事を通して、子どもたちの健やかなる成長を見守っていきたいと思います。

折り鶴集会で平和を誓う

8月29日（金）に折り鶴集会を行いました。これは、80年前に広島と長崎に投下された原子爆弾による悲惨な戦争を二度と繰り返さないよう、恒久平和を誓うための平和学習として毎年この時期に行われているものです。昭和20年8月6日、当時2歳で被爆し、10歳の時に白血病を発症しこの世を去った佐々木禎子（ささき さだこ）さんの、病気の快方を願って病院で折り続けた鶴の話から、そのことがきっかけで広島の平和記念公園に全国から千羽鶴が届けられるようになり現在に至ります。折鶴集会はオンラインで行いましたが、まずは私からの講話の後、児童会役員による「佐々木禎子物語」の朗読を行いました。感情を込めたその朗読は、全校生に対して戦争の悲惨さと、平和の大切さを届ける素晴らしいものとなりました。その後、平和の願いを込めた千羽鶴を、ペア学年の活動として1年生から6年生まで全校生で丁寧に折りました。上級生が下級生に対して鶴の折り方を上手に教えます。そんな姿から、小さな平和を積み上げていくことが、大きな平和につながるものだと実感しました。全校生の手で折った千羽鶴は6年生が修学旅行で訪れる広島記念公園で捧げ、香住小を代表して恒久平和を祈りたいと思います。

夏休みも！

《コミュニティ・スクール（学校運営協議会）》

図書ボランティア(ほんのわ)にお世話になりました

前号で、図書ボランティア（ほんのわ）の活動についてご紹介しましたが、今回は夏休みに「図書整備」をしていただきました。作業内容は、①本や本棚の拭き取り作業 ②新しく購入した本のバーコードや背レベル貼り ③分類を変更する本の背レベル貼り直し などです。

今回は、香住小児童と香住一中生徒による「こどもボランティア」がたくさん来てくれて、とてもスピーディーに作業が進んでいきました。おかげで、児童たちが本を探すとき、返却する時に、より分かりやすく図書室を利用できるようになりました。2学期に今年度購入した本や寄贈していただいた本がたくさん入ってきます。今後更に図書室利用が進み、読書に親しむ児童が増えてくれることを期待しています。



先生の学び 夏季研修の実施

夏休みの期間中、校内研修や校外研修会への参加など、先生方も様々な学びを深めました。香住小学校でも、余部小・長井小合同で、スクールカウンセラーの石橋先生を講師として招き、「子ども達の悩みについて考える」と題して、カウンセリングマインド研修会を行いました。そのほかにも、本校、外国語専科の川西先生による「外国語活動模擬授業研修」、担当教諭からの「道徳教育実践研修」「タブレットや大型テレビの活用研修」、「いじめ防止研修」（まだまだありますが…）さらには、美方警察署の生活安全課の方を講師として、「不審者対応さすまた訓練」を実践しながらに実施しました。さすまたのある場所は知っていても、いざという時に使えないと意味がありません。持ち方や姿勢、使い方ひとつで効果が全く違うことを、実践研修を通して学びました。今後も、先生方の学びを深め、授業力向上や、こども理解、安心安全な学校づくりなど、教師の資質向上に向けた研修会を進めていきたいと思います。



学校における働き方改革の推進について

兵庫県教育長および県内市町教育長共同メッセージ

兵庫県では、子どもたちの未来に向けて質の高い教育を実現するため、学校における働き方改革を推進しています。本校でも引き続き業務の整理や教職員の意識改革などを推し進め「チーム学校」として業務改善を図り、児童と向き合う時間の確保と教育の質向上に努めてまいります。

現在も学校運営協議会の委員の皆様や保護者、地域の皆様には、PTA活動および、登下校の見守りや図書ボランティア、学習支援など様々な活動にご協力をいただいております。

推進に向けた兵庫県教育長及び県内市町教育長共同メッセージについては、1学期に配布させていただきましたが、兵庫県教育委員会のホームページや学校ホームページからご覧いただけます。（右の二次元コードでもご覧いただけます。）

今後も引き続き、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。



◎保護者の皆様へお願い

上記共同メッセージと同様に、本校におきましても、学校における働き方改革を進めてまいります。保護者の皆様におかれましては、急を要する場を除き、放課後の学校窓口における対応（忘れ物など）につきましても、できるだけ17時までにご覧いただければと思います。

教職員一人一人の心と体にゆとりがなければ、児童たちにとってより良い教育を進めていくことは出来ません。心身ともに健康な状態で働く環境づくりが、教員と児童にとってとても大切であると考えています。

保護者や地域の皆様におかれましては、今後も学校における働き方改革推進に対しましてご理解・ご協力をいただきますようお願いいたします。